

# 放課後児童クラブについて

## 【事業の内容、目的】

共働き家庭など留守家庭のおおむね10歳未満の児童に対して、児童館や学校の余裕教室、公民館などで、放課後に適切な遊び、生活の場を与えて、その健全育成を図る  
(平成9年の児童福祉法改正により法定化〈児童福祉法第6条の2第2項〉)

## 【現状】(平成19年5月現在)

○クラブ数 16,685か所(全国の小学校区約23,000校のおよそ3/4程度)

⇒平成19年度に「放課後子どもプラン」を創設し、原則としてすべての小学校区での実施をめざす

○登録児童数 749,478人(全国の小学校1～3年生約357万人の2割程度)

## 【事業に対する国の助成】

児童手当勘定(特別会計)から事業実施市町村に対して助成

平成19年度予算 158.5億円(38.3億円増)

### ○運営費

・概ね1/2を保護者負担で賄うことを想定。

・残りの1/2分について、児童数が10人以上で、

原則、長期休暇(8時間以上開所)を含む年間250日以上開設するクラブに補助。

・児童数36～70人の場合、基準額:240.8万円

### ○整備費

・新たに施設を創設する場合(基準額:1,250万円)のほか、学校の余裕教室等を改修する場合(基準額:700万円)、備品購入のみの場合(基準額:100万円)も助成

※運営費、整備費ともに、国、都道府県、市町村が3分の1ずつ負担

運営費の負担の考え方

